

## かつおの水揚げ港、鹿児島県枕崎市発 ミクロネシアでかつおの残滓等を利用した プロジェクトを開始します！

(独)国際協力機構(以下 JICA)と、鹿児島県枕崎市、枕崎水産加工業協同組合は、草の根技術協力事業<sup>1)</sup>『ミクロネシアにおける水産系残滓処理による養豚用飼料普及プロジェクト』を2022年1月18日より開始しました。ミクロネシアの養豚農家では、これまで飼料に残飯や芋などを与えていましたが、物流の発展等により安定的に確保し易い配合飼料にシフトチェンジしつつあります。しかし、割高な輸入配合飼料に頼らざるを得ないため、養豚農家の費用負担が年々大きくなってきています。このような状況を踏まえ、本プロジェクトでは、枕崎水産加工業協同組合の水産系残滓処理技術により現地で作られたフィッシュミールを利用した新たな養豚用飼料を開発し普及させることで養豚農家の生計向上を目指します。



現地の養豚の様子



残滓を粉砕した様子

### 概要

- 事業名：草の根技術協力事業  
『ミクロネシアにおける水産系残滓処理による養豚用飼料普及プロジェクト』
- 対象地：ミクロネシア国ポンペイ州
- 提案自治体：鹿児島県枕崎市 <https://www.city.makurazaki.lg.jp/soshiki/suisan/>
- 事業実施団体：枕崎水産加工業協同組合 <http://katuobushi.net/>
- 相手国実施機関：国家漁業公社
- 事業期間：2022年1月18日～2025年1月17日

■ 問い合わせ先

JICA 九州 市民参加協力課 東  
TEL:093-671-8210  
E-mail:Higashi.Marika@jica.go.jp

<sup>1)</sup> 草の根技術協力事業とは、国際協力の意志のある日本の NGO/CSO、地方自治体、大学、民間企業等の団体が、これまでの活動を通じて蓄積した知見や経験に基づいて提案する国際協力活動を、JICA が提案団体に業務委託して JICA と団体の協力関係のもとに実施する共同事業です。参考 URL:<https://www.jica.go.jp/partner/kusanone/index.html>